

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
1121	会計事務事業	会計事務局	会計事務局	2
1132	財務会計システム保守管理事務	会計事務局	会計事務局	3

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	会計事務局	課等名	会計事務局	担当G	経理担当	連絡先	948-6240
------	-------	-----	-------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	会計事務事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	7:その他
1121					
政策【分野】	つなぐを支える【連携】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	つながりがまちの活力になっている		—	—	
施策	持続可能な行財政運営の推進	根拠法令	地方自治法、地方自治法施行令、地方財政法、松山市財務会計規則等		
主な取組	持続可能な行政運営の推進				
目的・背景	目的:松山市の行財政が適正かつ能率的に運営されることを目的とする。 背景:地方自治法に基づき本市の会計事務を執行する事業である。				
対象・内容	対象:指定金融機関、出納員、会計員等 事業内容:松山市の財務の公正な運営を確保するため、会計管理者の補助機関として会計事務を行っている。 出納担当 現金(歳入歳出外現金を含む)・有価証券の出納・保管・記録、資金計画、出納員・会計員の管理、指定金融機関等との調整 公金取扱事務収納処理業務(委託先:株式会社伊予銀行) 審査担当 支出負担行為の確認、支出命令等の審査 経理担当 決算の調製・物品(使用中の物品を除く)の出納及び保管				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	会計管理費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	公費支出に係る口座振込 手数料		84,664
予算 (千円)	事業費計	81,130	141,889	210,750			公金取扱事務収納処理業 務委託料		24,587
	国費・県費								
	市債			34,900					
	その他	1	1						
	一般財源	81,129	141,888	175,850		歳入歳出決算書外 印刷製本費		2,294	
決算 (千円)	事業費計	75,117	119,571			主な 取組 内容 【R7】	会計事務に関する資料の作成・改良 歳計現金運用益の確保 財務会計システムの円滑な運用 公金取扱事務収納処理業務委託 (委託先:株式会社伊予銀行) キャッシュレス決済の運用管理		
	国費・県費								
	市債								
	その他	1							
	一般財源	75,116	119,571						
	(執行率)	93%	84%						
人役	正規職員	16.8	17.8	19.8		特記 事項			
	その他	2.0	2.0	1.0					
	合計	18.8	19.8	20.8					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	会計事務局通信の発行		目標	6	6	6	6	作成を各担当の持ち回りとし、テーマの充実を図りつつ、臨時的周知事項にも対応したため、目標値以上の発行となった。	
			実績	6	7				
	現状維持	回	達成率	100%	117%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	安定的な会計事務の執行を達成できたことに加え、「会計事務局通信」の発行や、各種研修の開催を実施し、会計事務に対する職員の理解を促すことができた。 また、キャッシュレス決済導入所属に対するサポートを継続し、市民サービスの維持・向上に努めた。							
課題	国が推進する基幹業務システムの標準化に伴う収納帳票の変更に対応し、収納業務の安定運用に努める。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き安定的な会計事務の執行に努める。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	会計事務局	課等名	会計事務局	担当G	経理担当	連絡先	948-6240
------	-------	-----	-------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	財務会計システム保守管理事務	事業性質	2:その他	事業区分	7:その他
1132					
政策【分野】	つなぐを支える【連携】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	つながりがまちの活力になっている		—	—	
施策	DXの推進	根拠法令			
主な取組	情報システムの適切な管理				
目的・背景	目的:財務会計システムの安定的な稼働を目的とする。 背景:財務会計システムの再構築に伴い、開始した事業である。 令和2年度には、運用コストの削減、災害時のデータ保全及び業務継続などを目的に、クラウド上でのシステム構築に変更した。 令和8年10月から、新たな財務会計システムが稼働予定である。				
対象・内容	対象:松山市職員、利用団体職員 事業内容:財務会計システムの安定的な稼働、継続的な利用を確保するため、財務会計システム用ソフトウェアの賃借・保守を行っている。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	会計管理費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	運用機器及びソフトウェアの賃借料		5,822
予算 (千円)	事業費計	9,721	9,036	26,654			運用機器及びソフトウェアの通信料		3,213
	国費・県費								
	市債								
	その他	73	68	161					
	一般財源	9,648	8,968	26,493					
決算 (千円)	事業費計	9,720	9,035			主な 取組 内容 【R7】	財務会計システム用ソフトウェアの 賃借・保守業務		
	国費・県費								
	市債								
	その他	73	68						
	一般財源	9,647	8,967						
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記 事項			
	その他								
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	システムの安定稼働		目標	365	365	365	366	導入から複数年が経過し、安定的に稼働できているため。	
			実績	365	365				
	現状維持	日	達成率	100%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	財務会計システムが安定的に稼働したことで、迅速かつ正確な会計事務が行えた。							
課題	令和8年10月から新たな財務会計システムが稼働予定であり、当面は現行システムとの並行稼働となる。両システムが安定的に稼働するよう努める。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き、財務会計システムの安定的な稼働を目指すため。